

令和7年度 学習の手引き



輪島市立門前中学校 ()年

名前 _____

令和7年度 学習の手引き

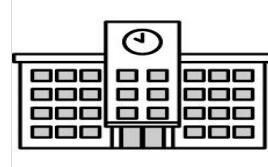
輪島市立門前中学校

1 学習するときの心構え

中学生の学習で大切なのは、「学校での学習」と「家庭学習」です。中学校生活は部活動や係活動で忙しく、限られた時間の中で学習することになります。「学校での学習」とは主に「授業」のことです。学習内容を理解するためには「聞く」、「書く」、「話す」ことが大切です。先生の話をよく「聞き」、自分の考えを「書い」たり、「話し」たりできるように頑張りましょう。

また、「家庭学習」は、授業で理解したことをもう一度学習することで脳に記録（REC）させるために行うものです。学習内容の定着だけでなく学習する習慣も身に付けて欲しいです。

自分の夢や希望を実現するために、授業と家庭学習にしっかりと取り組んで、充実した中学校生活を送りましょう。



2 授業の心構え5か条



①5分前行動・2分前着席を心がけよう。

- ・チャイムが鳴る2分前に席に着こう。
- ・次の授業に必要な道具を準備してから休憩しよう。

②語先後礼で挨拶しよう。

- ・授業の始まりは「お願いします」、終わりは「ありがとうございました」と声に出して語先後礼の挨拶をしよう。

③集中して聞く姿勢を作ろう。

- ・話を聞くときは、話している人の方に体を向けて、意識を集中して聞こう。
- ・話す場面、聞く場面、書く場面を大切にしよう。

④自分の考えを持ち、相手に聞こえるような声で発表しよう。

- ・間違いを恐れず、相手に聞こえるような声で発表しよう。
- ・みんなより良い意見、より良い解決方法を考えていこう。

⑤友達の意見も参考に、改めて考えたことを自分の言葉でまとめよう。

- ・今日の学習で分かったことや、大切だと思うことをノート（プリント）にまとめよう。
- ・自分の取組や、成長できたと感じることを振り返ろう。

3 家庭学習で保護者の皆様にお願いしたいこと

①学習時間を確保する。

- ・集中して学習できる時間帯を話し合って決めてください。

②学習環境を整備する。

- ・落ち着いて学習できる場所を決めてください。

③頑張ったことを認める。

- ・頑張って取り組んだことは、褒めてあげてください。

褒めてあげることで学習意欲が高まります。

④学びを共有する。

- ・勉強する子どもの側で本や新聞を読んだり、勉強したことについて話をしたりするなど、学びを共有してください。



4 家庭学習時間（1日の目標学習時間）

◆ 1年生 ・・・・・・ 70分以上

◆ 2年生 ・・・・・・ 80分以上

◆ 3年生 ・・・・・・ 90分以上

※休日中 1、2年生… 90分以上

3 年 生… 100分以上

（3年生は10月以降に150分を目指して）



5 家庭学習内容

◇「五教科からの課題」と「あすなろノート」(曜日ごと)

- 各教科からの課題は、Google classroom の「家庭学習課題表」で確認することができます。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
教科	国語	理科	英語	社会	数学

◇土日は、教科自由であすなろノート1P

※chromebook でキュビナを活用し、既習事項の復習など行う。

◇あすなろノートの掟

- ①1日1教科1ページ（各教科の課題と同じ曜日）
国語（ピンク）社会（オレンジ）数学（水色）理科（緑）英語（紫）
- ②学習のテーマを決める。（左上のNo. のところに書く）
予習・復習 《学習課題》
- ③日付曜日を書く。
- ④振り返りを文でしっかりと書く。（「難しかった。」など一言は×）
- ⑤学習時間を書く。（ページ上のあいたところ）
○○時○○分～●●時●●分



各教科から

(国語科)



☆ 先生からのメッセージ

国語の勉強は「言葉」の勉強です。「言葉」は生きていく上でなくてはならぬものです。日本語をしっかりと使いこなしましょう。国語の勉強は、後回しにしないで下さい。やればやるほど、実力がUPし、点数がぐんと上がる教科です。少しずつでも、できるだけ毎日取り組みましょう。10分～15分でも大丈夫です。加えて漢字練習も大切です。普段の読書、新聞を読むことも国語の力を高めてくれます。常に「言葉」に敏感になってみてください。

☆ 毎日の学習の仕方

【授業では】

- しっかり話を聞く。教科書は目で読む、声を出して読む。ノートは先生や友だちの言ったこともメモする。授業で習ったことのまとめを書く。「何が」分かったのか、振り返りを書く。

【家では】

〈予習〉

- 意味調べをする。
- 漢字練習をする。
- 教科書の次の範囲を読む。
- 大事だと思うところに線を引く。
- ノートにポイントだと思うところを書き写す。
- ワークで予習する（答えをあすなろノートに書く）。

〈復習〉

- その日に学習した教科書の範囲を読み直す。
- ノート、プリントを読み直す。
- ノートをあすなろノートに書き写す。
- 自分で短くまとめを書いたり、感想を付け加えたりする。
- ワークで復習する（答えをあすなろノートに書く）。

☆ テスト前の学習の仕方

- 漢字、ワーク、プリントなど、答えを隠してもう一度テストしてみる。
- 教科書、ノートなど範囲の見直しをして、大切なところをあすなろノートに書く。

☆ テスト後の学習の仕方

- 間違えた問題は、しっかりと理解して自分のものにしよう！
- なぜ間違えたのか理由を考えよう（国語は、考え方が大切！）

(社会科)

☆ 先生からのメッセージ



☆なぜ学習するのか?

○社会科を学習する目的は、私たちの未来をより良くしていくためです。未来を創るのは、紛れもなく今を生きている私たち自身です。私たちは社会科の学習を通して、世界や日本でどんなことが起きているのかを知り、よりよく生きていくためにこれから何をしていかなければならぬか自分で判断できるようにならなければなりません。そのための学習を、これから一緒に学んでいきましょう。

☆まずは、何からはじめる?

○まずは、社会に対して興味を持ちましょう。興味を持つために、テレビのニュースや新聞、インターネットに載っている記事を見るとよいでしょう。その時は、分からぬことや「なぜ?」と疑問を持つがあれば、是非、先生に聞いて下さい。

☆ 毎日の学習の仕方

【授業では】

○先生の話や指示をしっかりと聞くことが基本です。また、友だちの考え方や発表を聞くことが大切です。
○いろいろな面から「なぜ」、「どうして」と考えるようしましょう。そして、その疑問は、みんなで解決していきましょう。

【家では】

○積極的にニュースや新聞を見て、今、何が起こっているのか確認しましょう。
○復習をしましょう。宿題が出されたら、その日のうちに終わらせましょう。また、分からぬところがあれば、もう一度教科書を読んだり、友達か先生に教えてもらったりして、疑問を解決しましょう。

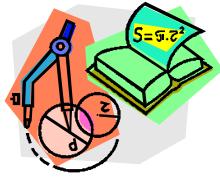
☆ テスト前の学習の仕方

○教科書やワーク、プリントを繰り返し学習する。
○学習内容を関連づけて、ノートにまとめる。

☆ テスト後の学習の仕方

○できなかったところは、復習して理解して覚えるなど、しっかりと自分のものにする。

(数学科)



☆ 先生からのメッセージ

数学で求められる力は、答えを速く正確に出す力だけではありません。答えを導く方法を説明したり、根拠や理由を明確にして考え方を述べたりする力も必要になります。
授業だけでなく、日常生活においても問題を解決するために「粘り強く考え、相手に伝えるために表現する」ことを習慣化していって下さい。

☆ 毎日の学習の仕方

【授業では】

- 先生の話や、友だちの発言をしっかり聞くことが大切です。また問題について「自分の考え方」を持つことを心がけて下さい。
- 分からぬ問題や疑問に思っていることはそのままにしないで、友達や先生に聞いて納得がいくまで訊いてください。諦めないことです。

【家では】

- あすなろノートを利用して、ワークや教科書で分からなかった問題を繰り返しておさらいして下さい。できなかった問題をもう一度解くことです。
- 計算問題は手順を確認しながら練習して下さい。面倒でも、途中計算をきちんと書くことが大切です。
- ワーク等で間違えてしまった問題は、その途中に原因があることがほとんどです。自分が間違えた原因を確認するためにも、間違えた問題の計算や答えは残しておいて、どこに間違いがあるかを確認してください。

☆ テスト前の学習の仕方

- 試験範囲を、2週間かけて3つの期間に分けて勉強しましょう。

試験範囲①	試験範囲②	試験範囲③
-------	-------	-------

1回目

2回目

まとめ

- テスト勉強の基本は教科書です。分からぬ箇所は何度も読み直してみましょう。
- ファイルに綴った授業プリントや単元プリントを見直して間違ったところを確認しましょう。
- 分からぬことはそのままにせず、必ず質問するなどして納得して終えるようにしましょう。
先生はいつでも待っています。

☆ テスト後の学習の仕方

- テスト等はファイルに綴って、間違えた問題をあすなろノートで、もう一度解いてみましょう。見直しだけでは不十分です。間違えた問題は、答えと照らし合わせて、「どの段階で間違っているか」をつかむことです。もう一度同じテストを受けたら、同じ間違いをしないようにおさらいをして下さい。

(理科)



☆ 先生からのメッセージ

理科では、日常生活の中で起こる身近な現象について考えます。時には、目に見えない現象を取り扱うこともあります。そんな時には『想像力』を働かせましょう。『想像力』を鍛えるために必要なことは豊富な知識です。得た知識をもとに根拠を立て、理由を説明できるようになります。まずは、興味から！

☆ 毎日の学習の仕方

【授業では】

- 自分の考えを持ちましょう。
*自分で考えた後に、友達と意見の交換をして、考えを深めていきましょう。

- 毎日の授業を大切しましょう。

- *分からぬことがありますれば、すぐに質問しましょう。

【家では】

- その日のうちに、学習したことを復習しましょう。

- *日々の努力の積み重ねです。

- あすなろノートを有効活用しましょう。

- *授業の復習や計算練習

- 次の授業で何を学習するのか、頭に入れておきましょう。

☆ テスト前の学習の仕方

- 実験については、目的・手順・結果・考察を確認しましょう。

- *特に、手順で気を付けることは、理由も合わせて頭に入れておく必要があります。

- ワークを1回やっただけで終わらせない。

- *ワーク本誌に書き込んだ後は、別のノートに再度解いたり、解答を隠して一問一答に答えた
りしましょう。

- 計算問題は何度もトライ！ 自力で解ききろう！

☆ テスト後の学習の仕方

- テストで間違えた箇所は、どんな間違え方をしたのか、全く書けなかったのか、勘違いしたの
か、単位を間違えたのか…そこをしっかりと確認し、同じ間違いをしないようにしましょう。

(英語科)



☆ 先生からのメッセージ

なぜ、英語を勉強するのでしょうか。それは、英語を通じて世界の人々と意思の疎通を図ろうとする態度を養い、外国の文化や生活を理解するためです。知らない国のことを知ることで、自分の視野が広がり、色々なことが見えてきます。

英語でコミュニケーションを図るために、英語の授業で基礎的な英語力を身につけましょう。そして、英語をたくさん聞いて、読んで、話して、書いて、着実に英語の力を身につけていきましょう！

☆ 毎日の学習の仕方

【授業では】

○英語の力を付けるには、授業を大切にするのが一番です。先生の言葉を一言も聞きもらさないという意気込みで臨みましょう。授業は、概ね以下の流れで進んでいきます。

- (1) 前時の復習＆帯活動
- (2) 教科書の内容確認（リスニング、Q&A、音読など）
- (3) 新文型の練習＆言語活動（やり取り・発表）
- (4) まとめ

【家では】

〈予習〉

○単語テストの準備—単語の意味やつづりが分かると、何の話なのか推測できます。

○本文と新出単語をノートに写す — 授業に臨む心の準備になります。

〈復習〉

○音読 — その日に学んだ英文を、滑らかに読めるようになるまで練習しましょう。

○「毎日」練習する — 短時間でもOK。コツコツと小さな積み重ねをすることが大事です。

○疑問を見つける — 分からないところを見つけ、質問し、疑問を解消してから次の授業に臨みましょう。

☆ テスト前の学習の仕方

- (1) ノートを見直し、単語・本文・宿題なども見直す。
- (2) 教科書を音読する。（余裕のある人は、日本語訳を英語に復元する個人練習をしよう）
- (3) ワークの学習に取り組み、繰り返し解いてみよう。

☆ テスト後の学習の仕方

◎間違えたときこそ、学ぶチャンスです。間違えた問題に印をつけて、答えを見ず もう一度考え方直して解いてみましょう。そうすることで確実に習得できます。